

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2
発達段階に応じた教育の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 教育指導課管理監（地域教育推進室長） 竹下 勝 電話番号 0852-22-5738

事務事業の名称	キャリア教育推進事業	
目的	(1) 対象	県内高校の生徒及び特別支援学校高等部の生徒
	(2) 意図	これからの社会を生きていく生徒一人ひとりの個性や創造力を伸ばし、夢に向かって挑戦していこうとする意欲や自立心を育む教育活動を推進する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 県内の高校生の個性・創造力を伸ばし、夢に向かって挑戦しようとする意欲を育むため、学力向上などにつながる取組を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> □生徒の夢を実現する普通科高校教育力アップ事業 □創造性・個性を育む専門高校魅力アップ事業 □夢実現進学チャレンジセミナー □学びの力向上チャレンジセミナー 高校生の創造力・コミュニケーション力を育むため、県内の高校生に対し、島根の食材と他地域の食材を組み合わせた料理コンテストを実施する。 <ul style="list-style-type: none"> □食の縁結び甲子園 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 甲子園大会の全国応募チーム総数	目標値		100.0	130.0	170.0		チーム数
		取組目標値						
	式・定義 書類審査に応募したチーム数	実績値	87.0	136.0	134.0			
		達成率	-	136.0	103.1	-	-	%
2	指標名 学びの力向上チャレンジセミナー参加率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 参加人数/募集定員×100	実績値	66.7	70.0				
		達成率	-	70.0	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	33,552	33,933
うち一般財源 (千円)	33,552	33,933

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> 食の縁結び甲子園 平成28年度の第1回全国大会では、県外チーム数95、県内チーム数41の計136チームの応募があり、平成29年度の第2回全国大会では、県外チーム数101、県内チーム数33の計134チームの応募があった。応募チーム数については目標を概ね達成できている。平成28年度においては、大会への来場者数は500人を超え、前年度大会の299人を上回った。平成29年度は今後開催。（成果指標において全国からの応募チーム数を上げる理由：来県高校生が増えることにより、県内高校生がより多くの刺激を受け、学ぶ機会の拡充につながるため） 夢実現進学チャレンジセミナー、学びの力向上チャレンジセミナー：昨年度のセミナー参加人数（41/60、35/50）参加率（68.3%、70.0%）
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> 食の縁結び甲子園大会においては、出場生徒は地域の食や食文化について、深く学習をしており、食を通じて地域を知り、地域の課題を解決しようとする地域理解と貢献意欲の高まりがみられた。 夢実現進学チャレンジセミナー、学びの力向上チャレンジセミナーを通じて生徒は主体的な行動ができるようになり、夢や目標を持つことの大切さを知り、学ぶ意欲の高まりが見られた。自分自身について改めて考える機会となり、この合宿形式のセミナーを通じて自己の変化に気付いた生徒が多かった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 食の縁結び甲子園全国大会 来場者数は平成27年度大会に比べて増加しており、一定の改善は見られたが、出場生徒がより意欲的に取り組んでいくためには、より多くの方が出場生徒の懸命な姿を直に観覧し、応援していただく必要がある。 夢実現進学チャレンジセミナー、学びの力向上チャレンジセミナー 両セミナーとも参加率が約70%と、定員に達していない状況であり、やや低調である。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 食の縁結び甲子園全国大会 県内における大会の認知度が高いとは言えず、来場者を呼び込むためのインパクトに欠ける。 夢実現進学チャレンジセミナー、学びの力向上チャレンジセミナー コミュニケーション力に不安があり、自分の知らない生徒が集うセミナーへの参加に消極的なため。学びの力向上チャレンジセミナーはそれに加えて専門高校の生徒の参加が少ないため。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 食の縁結び甲子園全国大会 県内における大会の周知方法や、大会を盛り上げるための工夫について、有効な手法を検討する必要がある。 夢実現進学チャレンジセミナー、学びの力向上チャレンジセミナー 自己肯定感や高い目標に挑戦しようとする志を持てるような教育活動を推進すること。高校生より早い段階での学ぶ意欲の向上を図ること。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> 夢実現進学チャレンジセミナーについては、高い目標に挑戦しようとする生徒を支援すると考えると、より学力育成に資する面が大きく、学力育成推進事業の一部として実施する。 学びの力向上セミナーについては、より早い段階での学ぶ意欲の向上をはかる必要があると判断し、中学生を対象として実施する。学ぶことの意義や学ぶことの楽しさを理解し、中学生が高校進学後や社会での生き方に見通しを持つことができるように、学ぶ意欲、学ぶ力の向上を図る。学びの力向上セミナーと食の縁結び甲子園は同じくキャリア教育を推進する事業として明日のしまねを担うキャリア教育推進事業に編入する。
--